

基本計画策定に際しての私見

- 提案宇宙活動で「意義の無いもの」はない。その中でどのように優先順位を付けるか？
 - － 安全保障の主張により予算総額が増える可能性狙う
- 地上インフラを宇宙ベースに変えてもらう努力を(省庁)
- 国の1のお金で産業が1.5興るような「しかけ」を
 - － 予見可能性を高める計画を作った。企業の努力に期待
- 企画に予算がついただけではだめ。企画を如何に効率的・継続的に実施できるかを今後検討
 - － アウトプットではなく、アウトカム(なぜその施策を実施したのかの目的)の達成を評価すべき
 - － 専門性を持った組織・人を大事に。継続が重要
 - － 各施策は「単一プロジェクト」ではなく「プログラム化」
- 国際協力の強化が必要
 - － 一国でできない: 国際人材育成・体制強化が鍵

基本計画を回していく際の基本的スタンス

- 宇宙利用による「価値の実現」を重視
 - － 「アウトプット」ではなく「アウトカム」を重視
- 予算配分に見合う政策効果の実現を重視
 - － 政策項目ごとに10年間の成果目標の設定
 - － 事前、プロジェクト中、事後の評価を徹底、フィードバック。
- 環境変化に応じて常に意味のある目標に更新
 - － 基本計画は変えないが工程表はローリングで年度更新
「進化し続ける宇宙基本計画」
 - － 「予見可能性」が崩れぬよう、全体の事業量維持に配慮

今後の宇宙政策遂行の体制

